

自社脱炭素化と再エネ普及の両輪で進める脱炭素経営

株式会社サンメック

(製造業 / 従業員数 51 名 / 令和 5 年 10 月より利用 / 令和 6 年度日立市ゼロカーボンアクション表彰受賞)

昭和 14 年の創業以来、安全・迅速・正確・丁寧をモットーに企業経営に取り組んできた株式会社サンメック。設計開発・各材質の精密製品・精密機械加工品・ショットブラスト・塗装・組立・品質管理の一貫生産と長年培ってきた高い技術力、設備、豊富な経験を活かし、顧客の獲得を実現しています。

今後は、時代が求める脱炭素社会の実現に向けて、自社内の行動に留まらず、再生可能エネルギーによる課題解決にも積極的に取り組んでいます。

この度は、株式会社サンメックで脱炭素推進事務を担当している鈴木さんに脱炭素経営への取り組み状況についてお話を伺いました。

-御社がシステムを導入したきっかけを教えてください

もともと弊社の社長は、環境に配慮した会社になりたいという想いがありました。

所属している組合でも脱炭素への意識が高まり、自社の CO2 排出量の把握や、CO2 削減目標を具体的にするためシステムを導入しました。

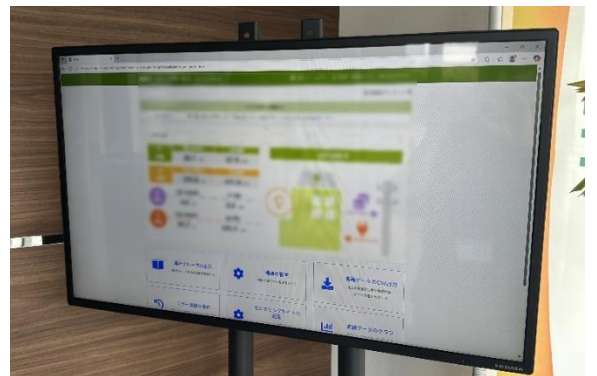


外光を多く取り入れることが可能な製缶工場

-御社の脱炭素への取組状況について教えてください

当初は CO2 排出量の算出方法や、削減のために何から取り組むべきかが分からない状況でしたが、令和 5 年度にシステム導入ワークショップへ参加し、実際に CO2 削減に向けたロードマップを作成したことで、ノウハウの蓄積を実感しました。

現在は、ロードマップをもとに、太陽光パネルの設置や、EV フォークリフトの導入など、削減施策を計画的に実施しています。



太陽光モニターで消費電力や発電量を周知

-利用を考えている皆さんに一言お願いします

私たちも最初は何から始めれば良いのか分かりませんでしたが、脱炭素経営に興味があるものの何から始めればよいのか分からない方がいれば、まずは一歩前進するために導入してみてください。少しずつでも進めることで、意識が変わっていくと思いますので、ぜひチャレンジしてみてください。



ヒアリングに協力いただいた鈴木さん